

平成28年度 西日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会
議事要旨

1. 開催日時 平成28年12月12日(月) 10:00~11:30
2. 場所 西日本高速道路株式会社 19階 会議室
3. 出席者 [委員] 斎藤委員長、出野委員、帯野委員、戸田委員、中瀬委員、中野委員
[会社] 石塚社長、酒井副社長、高倉常務、前川常務、芝村常務 他

4. 議事

下記の区間に関する事業再評価について審議

≪評価対象区間≫

- ・中国横断自動車道姫路鳥取線(播磨新宮~山崎 JCT)
- ・四国横断自動車道阿南四万十線(徳島東~徳島 JCT)

(1)中国横断自動車道(播磨新宮~山崎 JCT)の事業再評価について

◎主な意見

- ・高速道路整備により、播磨科学公園都市に位置するSPring-8などの研究施設を利用するため、域内へ進出する企業の増加に加え、域外からアクセスする企業の利便性向上に大きく貢献することから、早期の開通を目指してほしい。
- ・播磨科学公園都市内の粒子線センターは、高度医療施設として関西以外の遠方からの通院も多く、高速道路整備による利便性の向上への期待が大きい。
- ・兵庫県は全県防災拠点が三木市にあり、当該区間の整備により播磨新宮にある西播磨の防災拠点との連携が強化され、防災対策の強化が図られる。
- ・道路のリダンダンシーは、防災や医療関係に直結する重要な評価視点の1つだが、日本の便益評価では定量的な数値としては反映されていない。今後、こういった視点での評価手法について勉強を進めてほしい。

◎結果

対応方針(原案)については了承する。

(2)四国横断自動車道(徳島東~徳島 JCT)の事業再評価について

◎主な意見

- ・四国8の字ネットワークのミッシングリンク沿線になっている徳島県南部および高知県(室戸地方)は、交通の便が悪いため観光や漁業などのポテンシャルを生かせていない。ミッシングリンクを解消し、路線全体の早期整備を期待する。

- ・吉野川河口部の環境の保全については、橋梁の環境モニタリングを実施するなど真剣に取り組んでおり、環境への配慮が十分なされている。環境モニタリング技術の発展にも大きく寄与している。
- ・地元の自治体と協力した津波避難場所の設置は、避難訓練の実施など地域住民の防災意識を高めるきっかけにもなっており、地域防災に貢献している。
- ・地元自治体と協働関係を築き、災害時の避難場所確保を行う事業としたことは高く評価できる。環境政策など社会の多様なニーズに応えた高速道路の整備および維持管理が重要であり、それを支える方策や制度のいっそうの充実に向け考察を深めてほしい。

◎結果

対応方針(原案)については了承する。